

株式会社フコク 2024 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会 質疑応答要旨

株式会社フコク

Q. 下期の営業利益計画 28 億円強への達成の論拠と具体的な方策について

- ・ まず、半導体の復調により操業度益が確保できること。足許、子会社の受注が好調で、半導体不足からの復調が顕著に表れている。

一方、原材料については、エネルギー関係の上昇が下期は緩やかになると考えている。

中でも一番効果がある施策としては、上期に種まきした合理化や価格対応が、下期に順調に効果が出る見通しであること。

Q. 業績進捗に関して、上期までの営業利益進捗率 27%(事務局注釈：営業利益が通期計画 39 億円に対し、上期実績 10.6 億円であったこと)は想定通りであったか。もし、悪かった場合は、そのポイントについて。

- ・ 上期は、中国の景気不振や日系自動車メーカーの受注低迷が営業利益の年間進捗率に影響している。

下期においては、合理化施策や変動対応を力強く進めて来ており、計画達成に向けて動いている。

以上